

2023.3.11|土|

13:00 ▶ 18:00 (12:45 開場)

ZOOM によるオンライン開催

参加費
無料



※事前に左のフォームからご登録をお願いします。
<https://us02web.zoom.us/join/register?ZJsoa6eapierGtEXtmt1FQdyvJXUhykcGdW>

登録締切 2023年 3月10日(金) 正午

要旨

本研究会の目的は、法律、経済、芸術、宗教といった領域から、現代調査をもとに「不確実性 (uncertainty)」という概念と対話し、日々変化する確実性なき現代社会に新しい解釈を提供することです。身体・言語・倫理といったミクロのレベルから不確実性を検討する A・アバドゥワイの『不確実性の人類学』(2020年、原著は 2016年)の視点を共有し、裁判、開け事、芸術品の販売、宗教実践について調査を行う若手研究者が発表します。また、人類学の多様な視点から現代社会の不確実性を検討し、理解を深めることを目指します。そのうえで人類学者の岸上伸徳氏(国立民族学博物館)、中川理氏(国立民族学博物館)、田中雅一氏(国府ファッション専門職大学)をコメンテーターに招き、議論を行います。

プログラム

13:00-13:05 フィールドネットからの挨拶

13:05-13:15 施設説明

13:15-13:45 永井 文也(東京女子大学 教授)

裁判・鑑定手続の「不確実性」
——オランダ裁判における社会関係の権限をめぐる交渉と権限の移動——

13:45-13:50 質疑応答

13:50-14:20 野 藤葉(京都大学大学院 博士課程)

不確実性と多読から読解される
——オランダのシムスにおける国府ファッション(1950-)の展開から——

14:20-14:25 質疑応答

10分休憩

14:35-15:05 張 詩露(北京大学 PO 研究員)

産業文化と社会運動の場
——オーストラリアのストライク運動を事例に——

15:05-15:10 質疑応答

15:10-15:40 川本 直美(南山大学 准教授)

聖なる存在と本質
——オーストラリアのシムスにおける国府ファッション(1950-)の展開から——

15:40-15:45 質疑応答

10分休憩

15:55-16:15 コメント1 岸上 伸徳(国立民族学博物館 教授)

16:15-16:35 コメント2 中川 理(国立民族学博物館 准教授)

16:35-16:55 コメント3 田中 雅一(国府ファッション専門職大学 副学長
京都大学 名誉教授)

16:55-17:55 総合討論

17:55-18:00 閉会の辞

対話する人類学

法律・経済・芸術・宗教の現場から

不確実性と